第646호 1911. 3. 10.

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
定價 本紙一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休日(日刊)
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久神一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話六三番 振替口座京城大四五大番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番

恩賜公債に關する注意

郵便爲替に依る利子仕拂手續

(七)郵便爲替に依り利子の仕拂を受けんとするときは左記の事項を記載したる恩賜公債利子仕拂請求書に記名捺印し(已に提出せる印鑑と同一印章たるを要す)日本銀行京城代理店(韓國銀行本店)に差出すべし

一利子仕拂期
一證券の額面金額種類及番號
一爲替金拂渡郵便局所名
一住所

(八)日本銀行京城代理店(韓國銀行本店)は每期利子仕拂期日前郵便局所に於て仕拂ふべき利子を調査し郵便爲替振出請求書に同目錄を調製添付し之に現金を添へ郵便貯金管理所に差出すものとす

(九)指定郵便局所は郵便貯金管理所の取扱に係る爲替證書を恩賜公債證書受給者に送達す

(十)右爲替證書の送達を受けたるときは其證書に公債證券の利札を添へ指定郵便局所に差出し之と引替に爲替金を請取るべし

(十一)利子請取郵便局所の變更を爲さんとするときは證券の額面金額、利子仕拂期、種類及番號並に新に指定すべき郵便局所を記載し記名捺印(已に提出したる印鑑と同一印章なるを要す)したる屆書を日本銀行京城代理店(韓國銀行本店)に差出すべし

(十二)住所を變更したるとき又は前の請求を取消さんとするとき亦同じ

(十三)指定郵便局所の變更及住所の變更屆書等は次期の利子仕拂期日二十日前たるべし

(十四)以上爲替に關する料金は無料

(十五)利子拂渡手續に付尙不明の點は最寄郵便局所に就き問合すべし

●夜間連絡停止

昨今日に〳〵暖氣加はりて鴨綠江上の堅氷も表面處々融解せる個處あるが爲めに夜間の交通には特に危險を感ずるに至れるを以て新義州驛安東縣派出所にては鐵道局よりの訓達に基き七日より當分の內夜間の連絡を停止するに至りたれば京義線終列車より來るものは當夜總べて新義州に一泊を要することとなりたる譯にて之れが爲めに今年一月朝鮮鐵道連絡開始以來京義線終列車より來る旅客は總べて翌日午前四時安東驛發一番列車に接續し居たるものも當分は止むを得ず同二番列車と接續することとなりたり

●南北朝正閏削除

文部省は前日總督府に對し世論囂々たる歷史教科書(生徒、教師用)中より南北朝正閏の文字を削除すべき旨通牒し來れるより學部に於て目下着手中なり

●平南航路開始期

大同江の上流平壤附近は益々過日の雨積にて解氷したるが平壤鎭南浦間の航行は十日を過ぎざれは自由に開始されざる可し而して鎭南浦港よりの初航路船は十三日頃なる可しと

外事一束

▲米加 互惠條約案議會中の米國會議事に不上大統領は四月臨時議會招集。
▲南米 パラクエイと亞爾然丁との紛議は遂に亞國最後通告を與へ風雲急。
▲奉天 にて排外運動起り歐州勤誠の激文發布す清國積弱如斯國陌に胚胎。
▲淸國 錫總督五日各司道以下各大臣召集臨時會議を開き重要事項を協議。
▲墨國 革命騷擾は官軍の防禦嚴密の爲終熄し各市共平穩なりとの報あり。
▲庫倫 に大淸銀行設立成績良好なるに因り淸政府は蒙古銀行新設計畫中。
▲白河 解氷し四日夕大商流船大智丸溫州丸相前後して天津居留地に着港。
▲英國 印度事務大臣クリユー伯は食事中胃病の爲重態に陷しも經過良好。
▲奇特 奉天にて鼠疫の爲死せる英醫生母淸國寄贈の一萬兩を醫界に貢献
▲米國 海軍にては軍港整理に着手し太平洋岸大西洋岸七軍港に全力傾注。

文苑

◎らつぱぶし　碌々庵

赤い夕日の照る町で、ピンと響いた三味と歌、顏へ泣くよな歌の聲。たとへ月日を忘るとも、たとへ處を忘るとも、忘れられない三味の音。

『どうせかうなつちや……………、すてばちよ……………』赤い夕日の落る時、格子の蔭の撥の音やるせないでは、ないかいな。れ前はあの森に住む雀が戀しくはないかね。

◎早春　ふさ子

靑みそめなる空の色
水の流れの末きれて
霞み濺れど音寒く
燒野の烟立きれて
草木もけぶる雨餘の野邊
風は衣袂をなぶり去り
胶かならず鶯からぬ
森の中なる社には
聲もあやしき山鳥の
二こゑ三こゑ啼て過ぐ
夢か現かこの戀に
胸に刻みぬ春の曲

俳句

◎漢陽吟社第十五回月並發句集

花園選

稜善の人家を惠ふ乙鳥哉　悟竹
手枕のしびれも强し春の宵　如眠
牛部屋に續く畑やもゝの花　如春
春の宵揃ふて來るはなし好　其月
朝景色桃から出來る在所哉　悟竹
彼岸會や暮て鐘つく山の寺　米水
まだ殘る寒さをにぎる蕨哉　同
早雲に入る鳥見ゆる彼岸哉　一水
代官も桃の主と成られけり　同
春の宵よい事斗り聞にけり　如春
ひとつ家に諸の聲や春の宵　同
一面に三寸のびし蕨かな　悟竹
一つかね新に添る蕨かな　都天女
山一ッ越ロ深野や犬蕨　朝松
風切て低く飛び行く乙鳥哉　其月
風上る猫をくゝりし乙鳥哉　如眠
降さうで降ぬ日和の彼岸哉　悟月
電線にならふ巢立の燕哉　其竹
鶺鴒の億負ふて摘行蕨哉　米月
最う寒い日和あるまじ飛燕　德水
彼岸會やにぎ〳〵敷京の寺　一女
朝夕にかねる閭里や桃の花　半水
荒畑の大根花咲く彼岸哉　如韓
源平の桃の盛りや城のあと　半眠
行燈をそむけて春の宵寐哉　韓

十政

琵琶提て故人の來り春の宵　朝松
蝶々の生るゝ日なり桃の花　米水
紅さしたやうな杏や桃の花　都天女
山風の寒はうせず桃の花　半韓
燕や疊に落す甕白き　如眠
牛の子の人に鳴けり桃の花　如春
隣り迄笑に行や春の霄　朝松
八春 鶯笑抜いて疑たりけり　貝月
地手品師の門職がすや春ノ霄　悟竹
天鵝の餅の豆も賣切る彼岸哉　如春

追加

牛吼るかたに家あり桃の花　翠雲

新刊紹介

△東京經濟雜誌(千五百八十四號) 本誌重要記事は土佐孝太郎氏の對淸貿易に就て川口順次郞氏「漢口製粉會社の聯合服部春一氏の證券銀行論等其他經濟上の資料を以て充さる(一冊十二錢 東京市京橋區彌左衞門町經濟雜誌社)



召使れ初 (二)の六　黑法師

『唯今それを申し居るぢや』と助八は元の咄に回つて『宍戸樣とてれ手が四本あるではない、人間は心掛次第で、いかやうにも出世が出來ると、助藏に申し聞けて居たところぢや』

『まことに左樣でござります』とれ幸は其處に使き居れる助藏の顏を覗くやうに見遣り乍ら『人は心の張が第一ぢやよ石に嚙み附いても爲し遂げやうといふ覺悟にさへ動きなくば、何時か望の遂げられる時節も來る、其方も職を弘う、氣を大きう行く〳〵は重役衆にも負けぬやうな立身出世するといふ望み忘れてはなりませぬ』

『駄目ぢや駄目ぢや』と助八は手を掉つて『助藏は思ひが違ふ、立身出世の咄には、金鎧、立派な身と爲り槍突かせるよう、親兄弟に愛惜つかせるを望みといふ、ろんな事で什麽になる』

『いゝえ、左樣ではござりませぬ、助藏の心は私ちやんと見て居ります、唯今でこそれ父さまの脛嚙りでもありまするが、三五年の間に出世、一廉れ上の御用に立つて、武士の仲間入りして見せると內々心掛け居るらしうござります』

『夫れは其方の慾目おやよ、本人の口から今聞いた、意地も張もない餓者、それには變つて娘れ察、今日限り暇を呉れといふ、此方何うする』

『これはまた異なこと、暇取つて何うしやうと申すのでござります』

『女ながら家の名を迦すといふ、伜、女と性根が異ふた、併し女の出世は知れたもの、まさか高島田に兜戴て戰場の働きも出來ぬでの』

『それに私、今日奥樣とれ約束して參りたことござります』

『はてのう、何をの』

『嫁も今歲は十八、何時まで、我家に置きもならず、されぱとて嫁に遣る衣裳はない、兎角する間、此花に虫が附くこともあつてはなるまじく、宍戸樣へれ小間使ひに差し上げるやう申し上げて參りました』

『こりや好いこと、女の小間使ひは男のれ側用人、一人前の役目、何時から上げる』

『明日差し上げるれ約束、奧樣が甚うれ急ぎのやうでござります』

『れ察參るか』

『私これぱかりは、れ斷り申す外ござりませぬ』と、れ察はきつはりしたる詞

『不思議な返答、宍戸樣は江戶御家老五万石の大黑柱と仰がれて居らせられる、その奧樣れ小間使ひに上がるが、そなた何故氣に入らぬ』

『私、心に染みませぬ』

『さて〳〵我が儘、今何方へでも奉公出世の緒を求めるといふたでないか、それに今となつて、れ小間使は厭のなんの女の口に行き過ぎたことをいふ、許し難い』と助八は顏の色を變へ『これ、傳來の一刀、錆びては居らぬぞ』と刀架の端丁と撲つ

されどれ察は驚きたる態もなく『私れ小間使ひに上るのが望みではござりませぬ當分のれ暇戴くが望みと申したでござります』

『れのれ、まだ左樣の事をいふか、言語同斷、れのれ親を、朝祭坊に致し居るな』と助八は烈火の如し



無料調劑

廣告

◎貸金 組町二ノ一五別府 高橋
有給者には極秘密に低利融通可申候

眼科
京城本町六丁目(元軍司令部通り)
金井眼科醫院 電話一五五六番
院主 前大韓醫院眼科部長 金井豊七

肉エキス葡萄酒
(一名ウキンカーニス)
淳良なる甘味葡萄酒と著名なるリービヒ社肉エキス、麥芽エキスとより釀造せる强壯補血劑なり
京城本町三丁目
㊂ 龜屋商店 電話二十七番 振貯二十七番

最上醬油
㊢
釀造元
仁川萬石町
高杉醬油釀造場 電話七六五番

廣告
來る十日陸軍紀念日に付祝意を表する爲め新龍山(自古市町分岐點至新龍山終點)線に限り一區金三錢に割引致候間此段及廣告候也
明治四十四年三月六日
日韓瓦斯電氣株式會社

朝鮮助產婦養生所主催
慈善大演藝會
●●來る十一日十二日兩日午後五時より歌舞伎座に於て
入場料 特等一圓 一等七十錢 二等五十錢 三等三十錢
假事務所 明治町一丁目三池方 電話一四八九番

池坊生花教授
今般諸君の御便利の爲め左記の所へ出張所を設置候に付御希望の方は御申込被下度候
京城永樂町(赤門前) 一光齋秀庵
龍山驛構內 今井宅
京城新町 難波宅

恩給年金 諸證券及債利札 立替賣買
確實取引月一步五厘
京城中部壽進坊相洞廿九號七戶 鍾路通り東洋生命保險裏丁開多屋
上州屋支店 電話九百五番

瓦斯コークス販賣
京城黃金町高等演藝館隣
酒井組 電話一一四九番

寫眞半額
三月一日より普通寫眞半額大判並に引伸し(ツヤケシプラチナ)は三割引
仁川濱町二丁目 八坂寫眞館

●●代診生一名 看護婦二名
右入用に付志望者は京城新報社仁川支局へ至急申込べし

滋養 高等牛乳
京城南大門外 韓國畜產會社 電話八八番



代理店 京城 新井藥房

祝陸軍紀念日

我皇國の陸軍が世界戰史上未曾有の大捷を博し、國威を四方に耀したる今日の紀念日を迎ふるに當りて、吾人は常に剛健なる陛下の御威德に感佩し、想を千古の昔に馳せ、志を萬世の後に及ぼして、國運のいやが上にも堅からんことを祈らずんばあらず、殊に今年今日の祝日に際しては、藹然又欣然、一段の感慨と光榮とを以て、恭しく陛下の御稜威を仰ぎ奉る。我國民忠誠の念ますます陸軍の大捷を紀念する事を禁じ能はざるもの也。嗚呼、我陸軍の精鋭無比なること宇內に冠絕し、獨り我國民の自ら誇りとなすのみか、實に世界人の羨稱已まざる所なるかな、是れ顧みれば、今上陛下の御登極ありて以來、開國進取の國是を定め玉ひ、憲政の治を施き議政の府を創し、百度張て萬揺整ひ、皇威愈々熾にして、國運益々榮ふ、時に喬木嫉風の勢に洩れず、我國は露國を敵として戰ふの已むを得ざるに至れり、露は世界の强國なり、其面積に於て、其人口に於て、殊に兵員の數に於て、我の共に比する能はざる所、列國の見て及び難しとなせしものなるにも拘はらず一度び我彼と戰へば必ず勝ち、向へば必ず之を擊退し、終に七年前の今月今日、我陸軍は簇がる彼の大軍をして復起能はざらしめ、彼をして我前に屈伏するの餘儀なきに至らしめたり。正義の爲め、人道の爲、世界平和の爲めに帝國の前に立つもの、堅として敗れざるは無し、而して帝德の被る所、皇化の及ぶ所、韓の半島、來つて我領域に入り、紅を以て彩りし光明ある日本版圖の色は、大陸の上に最も鮮やかに染め擴けられ、長白山の峙つ邊、鴨綠江の滿ふる畔、一帶十三道、旭章旗の紅と相映じて相ひ輝くを見るに至る、亦大快心の事ならずや、本日の紀念日は、此の意義を加へて更に大に祝せざるべからず。併合以來第一の戰捷紀念日を祝ふの國民は大に萬歲を唱ふべし、然れども唯だ萬歲を唱ふのみにては足るべくもあらず、又顧へつて我戰捷の名譽をして幾億年の後迄も傳ふことを念とし、祝杯を揚ぐると共に、產を興し業を勵み財を豐にし兵を强くし以て一等國の實を擧ぐるの覺悟なくして可ならんや、戰捷を紀念するの本意蓋し茲に存す、皇國萬々歲……陸軍萬々歲。

▲**商法改正案成行** 東京電報（九日） 政友會は岡部法相の請求に依り商法改正案の協議を進行する事となりたれば兎に角本期議會を通過せしむべく修正意見は体刑に關聯する商法取締にして衆議院委員會審査の進行を俟て政友會政務調査會に附議し意見を決定する筈なるが結局兩院協議會を開く事となるべく協議會に於ては多少修正事項は貴族院に訴ふるも体刑削除の件は是非共其の主張を貫徹せん覺悟なりと云ふ

▲**明石總長の歸期** 東上中の明石警務總長は來る十六日頃新橋發歸任すべし

▲**韓銀第二回拂込** 韓國銀行第二回株券拂込期は今月末市原總裁歸府の上該期日を決定すべし

▲**林理事の歸任** 滯京中の東洋拓殖會社理事林市藏氏は昨八日夜新橋發歸任の途に就きたり

▲**獨大使ご新聞協會** 獨逸大使ムンム男が近々歸國につき本日國際新聞協會々頭箕浦勝人氏は男を大使館に訪問して丁重なる送別辭を贈呈したり同送別辭は見事なる漆器に納め東逸蕃伯の揮毫せる絹を以て裝飾したるものなり

▲**新條約批准期** 去月廿一日華盛頓にて調印を了せる日本新通商條約正本は目下我政府へ送達中にて近く到着の筈なるが愈々批准交換の手續を終るは四月中なるべし

▲**滿淸連絡輸送** 南滿線と淸國京奉線との連絡に付きては豫て南滿鐵道に於て既に調査を遂げたる折柄同地方面に鼠疫の發生ありし爲め交涉開始の運に到らざるが近く同疫終熄の上更に貨物連絡輸送に關する交涉を開始する筈

▲**參謀旅行演習** 奥參謀總長指揮の下に計劃されつゝある本年擧行の參謀旅行演習は之れを甲乙二班に分ち甲は本月十四日より二週間中國附近に於て大澤少將統監の下に擧行し乙は四月中旬より二週間東北地方に於て參謀本部第四部長重見少將統裁の下に擧行する事に決定し奥參謀總長より參加演習員に其旨通報せり

▲**歷史改訂總會** 今八日午後六時より國定歷史敎科書調査委員會を開き各部會の經過顛末を報告する筈なり

▲**銀行法案修正** 勸業農工、拓殖各銀行法は何れも衆議院の委員會に於て修正せられたり

▲**國民黨の動搖** 木下謙次郎氏除名に依り大分縣の國民黨支部は廢止せられたり福島縣支部も動搖せん模樣なり

▲**南極探險補助建議** 政友會代議士は南極探險隊補助建議案を提出せし

雜報

●**議會・朝鮮問題** 八日の衆議院に於る明治四十年法律第四十八號及第四十九號中改正法律案特別委員會に於て高田代議士より同四十九號中（內地人たる）の下に（警部補）を附則中（本法施行前）の下に（官又は）を加へ附則第二項として（本法は本法施行前の警部補の在職年數にも之を適用す）の一項を加ふるの修正案を提出し四十八號は原案の通り四十九號は修正案の通り可決したる旨八日午後其の筋に公電ありたり。

●**司法官に訓示** 十日より司法部會議室に於て開會の司法官會議列席者二十餘名及典獄會議列席者八名を十一日午前十時より總督府に召集し總督の訓示を與ふる筈なりと

半島の漁政に就て 庵原水產課長談

半島に於ける漁業の現狀は沿岸一海里に就き僅かに十五人の漁民を有するのみにして之を吾が內地の一海里三百人に比すれば實に二十分の一の少數に過ぎず如何に夫れ稀薄なるか以て知るべきなり又漁獲の方法より言へば朝鮮人は總べて幼稚の磯附漁業にして內地人と雖も漸く十海里以內の沖合漁業に從事し居れる位の現狀なり而して遠く海洋に出で集來魚族に向つて攻勢的方法を執るものに到つては殆んど絕無と云ふも不可なし思ふに此**攻勢的漁獲方法**は漁業の最も**發達**せるものにして斯かる時代を迎ゆるは予等當局者の理想なるが半島の現狀は尙は遠き未來に在りと言はざるべからず更に魚族を大別すれば浮魚中魚、底魚の三種となり更に之を種別すれば迴遊魚族定着魚族の二種となる而して以上の魚族は近海遠洋何れに於ても接息し居れるが目下の現狀は尙は甚だ幼稚の域に在りて上述の如く磯附漁業大部分を占め內地人と雖も漸く十海里以內に過ぎざれば勢ひ遠洋の魚族は空しく之を逸し去るの有樣なり然れども遠洋漁業は其設備に自から多額の經費を要し隨つて小資本家の能くすべき處に非らず之を獎勵するの要なきかと言ふに否々半島沿岸に於ける**漁民分布の現勢は一海里平均僅かに十五人**の少數なれば寧ろ大に內地漁民の移住を誘致することも目下の急務なりと信ず元來**內地漁民の移住獎勵**に就ては予等當局者の最も苦心する處なるが周圍の狀勢は之を不可能ならしむる事情多く例へば漁業根據地として最も有望の恰當地あるも交通機關の具備せざる爲め折角の漁獲物を擁して如何ともする能はず餘一尾一錢の低價尙ほ販路を求め難きものあり斯かる地的の移民にして到底失敗を免れず故に此希望を遂せんには漁業地として果して適當なるや否やを調査するも無論必要なるが先づ第一に交通狀態の如何に注意して指導する處なかるべからざる也更に又半島の漁業は**需給の關係未だ其衡を得ず**則ち一般人士に對し普局的に之が需要を充たし居らざるの現狀に在り然れば其前途大に多望洋々たりと謂つ可し而して**漁獲物の販路は朝鮮四分內地六分**の割合にして內地行は釜山木浦等交通關係の完備せる港灣を經ると共に朝鮮に對しても亦同樣なり此點より見るも水產業の發達を期圖せんと欲せば彼の農產方面に必要なるが如く**交通狀態の完備**を計らざるべからず云々

●**水道官營開始** 既報の通り京城水道買收案は兩院を通過したるが此れが官營期は本月卅一日澁澤男等のジンジゲードより引渡を了して來四月一日より官營となる筈なるが其給水料金は過般發布された官營水道給水規則に依りて徵收する筈なれば現在の料金よりも一割乃至二割の減額を見るに至るべく例へば此迄三圓五十錢の料金なりしものは三圓位となるべしと云ふ

●**朝鮮煙草會社** 一時立消の姿となりし朝鮮煙草會社設立の計畫は其後發起人間に於て內々設立の步を進めつゝありしが已に諸種の準備整ひたるを以て近々創立を發表すべしと云ふ因に同社事業開始の曉に於て大藏省專賣局は同社に向かつて內地產業煙草を買渡さるべきを以て同社は朝鮮葉及び支那葉のみに因ることゝなる

●**各地の電燈料** 日韓瓦斯電氣會社に對し電燈料値下方に就き京城商業會議所より交涉しつゝあること既報の如し之に就き會議所にて各地一箇月の電燈を調査せしが左の如くにて之れによつて普通家屋に使用する十六燭の電燈料を比較すれば京城二圓廿五錢釜山一圓九十錢南滿洲一圓三十錢京城が最高價格なる事を知るべし

五燭光（京城八十錢大阪五十五錢京都五十五錢）十燭光（京城一圓五十錢大阪一圓京都八十五錢橫濱九十錢）十六燭光（京城二圓二十五錢大阪一圓三十錢京都一圓十錢橫濱一圓三十錢）三十二燭光（京城四圓大阪二圓二十五錢）五十燭光（京城六圓大阪三圓九十錢名古屋二圓）

●**三南線工事消息** 三南線工事速成の爲め鐵道局にては各建築事務所の增設擴張を行ひ一日より木浦にも開始さるゝと同時に大田建設所にも

◀**八さまく**▶（二）

菅原大太郎君 百三十銀行朝鮮支店の總支配人であるが別に仰々しい事務室もなく店頭の突き當りの小窓の下に小卓子を置き側の火鉢に片足を凭せながら行務を處理し客が來れば隔意なく接室ともなる、些とも飾氣がなく極めて無造作に語るらく學校を出てから一寸或る會社を覗き間もなく百三十に轉り込み支配人となつてモウ十年になる今じや當行の古鼠サ、春の景氣……好いもんか好い筈は無いにやないか好い〳〵と言つて居るのは御用新聞斗りだ忙しくつて道樂處か斯ふして毎日十呂盤と首つ引きが何よりの娯みだ、酒は一升位飮めるが飮むでも飮まいでも能いのや。

●**民團民會開會** 九日午後三時より京城民團民會開會議事規則其他數件を附議し委員會報告通り可決したり

●**衞戍地の改稱** 龍山衞戍地は去七日より京城衞戍地と改稱する事となれり

●**民團議事認可申請** 京城民團にては民會の決議を經たる稅則改正及び是に附帶せる各件に對する認可申請の手續を了せり

●**善隣商業學校近況** 明治町の善隣商業學校は大倉喜八郎氏の寄附行爲に依て創設せられ爾來隆盛となり殊に同校にては專ら內地人子弟の晝間業務のため修學の余暇なき者の爲に夜學專修科を設け國語英語朝鮮語算術簿記外の商業必須の敎育をなし既に四十余名の卒業生を出し何れも實成績良好にして本年も亦約四十名の卒業生を出すべしと而して本年度入學志願者は前年度に比し多少增加の見込にて同校にては今より其準備をなしをれりと因に昨年新設せし高等科は專修科卒業生に更に高尙なる學科を設け又各官衙雇員等に普通文官受驗の學力を養成せしむる目的なれば入學を志願する者增加の傾きありと

●**穀稅廢止**議題となる 朝鮮米移入稅撤廢は帝國議會の議題となりし旨九日上京運動委員より當商業會議所に電報ありたり

●**平壤手形組合近況** 平壤手形組合に於ける二月中の成績を聞くに一月末に於ける現在保證額十八萬五千百十圓四十五錢同二月中の手形保證額は人員四十八名に對し百二十九枚にて此金額八萬四千三百五十四圓なるが支拂金額は五十五名に對する百四十枚にて此金額九萬三千七百二十一圓なり尙ほ前月末の現在金額は十一萬五千七百四十三圓二十五錢にして一月末の現在額に比較せば約七萬圓の減少を來し居れり右の原因に就ては一般朝鮮人が解氷後に於ける穀類の好況を豫期し徒らに之が買占めに努めし結果隨て自然保證額も增加するに至りたるに因ると云ふ尙組合に於いては目下金融緩漫にして一般穀類の出廻はりは喜ぶべき現象を呈せるものと雖も現今大坂に於ける大豆類の趨勢は面白からざるものあるに加へて將來に於ける地方穀類の出廻はり如何哉を慮り多少手控りの氣味ありし結果自然前記の現在額の減少を見るに至りたるものなりと云ふ

●**警備船の廻航** 昨報の如く淸國と共同防疫を實行する爲め警務總監部より警備船一隻及母艦新高丸を木浦港より近々廻航する事に決せり

●**技藝品の展覽會** 旭町一丁目女子技藝學校に於ては明後十一、十二の兩日間女生徒の成績品展覽會を開催し一般の縱覽に供すると同時に希望者に對しては實費を以て即賣をなすと云ふ

●**昌德宮の午餐會** 李王殿下には同妃殿下と共に午前十時閔長官、小宮次官其他重なる李王職高等官同夫人を隨へさせられ御馬車にて植物園內を御散步あらせられたり折柄今日の晴れ空に殿下には殊の外御滿足に召され各官と御談笑ありて正午秘苑植物館にて午餐會を催されたり

●**基督敎婦人連の奇特** 京城組合、日本メソヂストの三派合同基督敎婦人及淑明女學校生徒よりペスト豫防警戒の爲め鴨綠江沿岸監視に從事せる憲兵警察官に對し此の程慰問袋七百餘箇を送附したるに新義州防疫支部より夫れ〳〵分配せりと

●**京城醫師大會** 京城醫師會にては八日午後六時より巴城館に於て春季大會を開催せしが當日は役員の滿期改選をなす事とて出席者多數にして會則の變更を議せし後役員の選擧を行ふ其當選者左の如し

會長古城梅溪、副會長工藤武城、幹事石田誠、高井貞夫、鈴木謙之助、中村健吉、評議員村上龍瀧、安東貞一郎、和田八千穗、中島貞信、池田季雄

●**軍艦鈴谷の入港** 既報の通り軍艦鈴谷九日午後一時仁川入港久水府尹岩崎仁川民長宮木秘書長等同艦を訪問す

●**市原總裁の歸期** 東上中なる市原韓銀總裁の歸期は今尙は未定なるが今期議會に提出さるべき朝鮮銀行法案は一兩日中に提出さるべく同案通過を見て來月初旬歸京さるべしと

●**山根托嘱の東上** 山根總督府衞生顧問は議會に參列の爲め八日午前九時南大門發列車にて東上したり

●**平安南道經濟會議** 平安南道管下地方金融組合理事並に技手會議は目下同道廳樓上に開催中なるが去六日は松永長官の論示、七日は內務部長の演說あり後諮問事項を議し八日は組合提出事項及び協議事項注意事項を議し九日は理事俱樂部の總會を開催し花井拓殖場技師、中村韓銀支店長、早川農銀支配人、掛札農銀技師の講話あり終りて理事技手は各所視察の筈なるが同會議に於ける諮問事項の主なるもの如左

（理財係提出）貸付金使途の現況、組合貸附金の地方金融經濟特に地方金利に及ぼす影響、組合員の身元信用調査方法、不動產擔保評價に關する件、動產擔保獎勵方針、委託販賣共同購入の効果及獎勵上の意見、技手業務と老農雇入に關する件、附屬倉庫なき地方に於ける倉庫保管に關する件、組合の下に農事其他の產業契の設立に關する件、徵稅と金融經濟との關係、信用貸と擔保貸との利害、糧穀の改善に關する件等凡て廿一項（勸業係提出）水陸稻種子配付並に購入の件、金融組合が當業者に農業獎勵上の指導をなすの利害

▲**京龍兩驛の貨客**

▲南大門驛乘降客 八日の分 乘車客 六五四 下車客 七八三 乘車賃金 一、一四〇、六四

▲南大門驛荷扱高 八日の分 發送 一五六噸 到着 三六八噸 貨物賃金 七〇二、八七

▲龍山驛乘降客 八日の分 乘車客 一四九 下車客 二二〇 乘車賃金 一三八、四九

▲龍山驛荷扱高 八日の分 發送 一五四噸 到着 五四噸 貨物賃金 二九〇、一八

▲**仁川港の出入船舶**▼

▲山東丸 十日神戶より入港

▲漢城號 十日大阪より入港

▲隅田川丸 十日長崎より入港

▲群山丸 同 大坂に向出港

▲隅田川丸 同 大連へ向出港

▲音羽丸 同 橫濱へ向出港

▲**治外法權**▼ 彼の有名な佐賀の亂を起し、王師に抗して國賊の名を帶びた、故江藤新平の表彰建議案が議會へ出た、サテ出たことは出たが之れがモノになるかドウカは疑問だ▲併し若し之れがモノになつたらドウか、次ぎの議會へは前原一誠の表彰案が出よう、否な他年他日は氣紛れ者が洪州黨徒の親方孫晉鉉の表彰案を出さう▲夫は兎に角として薩長土肥時代の江藤新平は參議兼司法卿として中々やつたものであつた、然るに合せ物は離れ物、薩長土肥が仲間喧嘩をして遂に分裂に及んだ、而して新平の如き西鄉南州の如き全く此喧嘩の犧牲になつたのであるのだ▲西鄉と云ひ江藤と云ひ明治の功臣であるのだ、而るに此功臣等をして國賊たる汚名を受けしむる迄に喧嘩をさしたのは公家政治家であるのだ、公家政治家、茲に其名は云はぬ、併し斯くなしたるは建武中興役に於ける武家の跋扈に懲りたからであるのだ▲藩長土肥の藩閥、其第一に消ねたのが土佐で次が肥前で薩州も殆んど消んとして獨り現在榮ねて居るのが長藩であるのだ、併し之とてソウ長くは續かぬ▲桂侯は世界の大勢からして長閥維持の無意味なることを悟つた、シカリ無意味なるばかりでなく時世の許さぬことを悟つたソコで、彼れは政友會と結んだ、政友會と結んだ彼れはモハヤ長閥ではないのだ▲維新も四十四年になつたと桂侯が云つたのは藩閥政府が四十四年續いたと云ふ事であるのだ、モウ年貢の納め時だ、桂侯が年貢を納めんとして居るのは道に哲人の事だ▲我民會が納稅を四期に分けたのは事宜を得たものだ、併し本町入口の取擴げを否決したのは氣の知れぬ沙汰だ▲我商業會議所の代表者が電話使用料不納者に對する通話停止の件に關し、通信局を訪ふたのは恥の上塗りであるのだ、一体使用料が滿足に拂へぬ樣な輩が電話を持つのは心得違であるのだ、其心得違に商業會議所が左祖するのは尙一層の心得違であるのだ。

第二朝鮮紳士錄 本社は一昨年中第一朝鮮紳士錄を發刊し聊か社會の便益に供したる次第なるが今や時世の必要に應ぜんが爲め彼の東京交詢社の例に倣ひ第二朝鮮紳士錄を發刊せんとす其詳細は追て本紙上に廣告すべし

公人私人

△波多野承五郎氏（三井理事）太田へ
△秀島浩一氏（辯護士）釜山へ
△菅井番兵衞氏（鏡城警察署長）九州旅
△大村大代氏（咸興地方裁判所檢事正）巴城館に
△島山虎也太氏（釜山裁判所長）同上
△吉田雄六郎氏（同檢事正）同上
△向井富氏（平壤控訴院檢事長）同上
△北村五七郎氏（大邱地方裁判所檢事正）同上
△松下直美氏（同所長）同上

▲**大阪期米** ●八日前場 三月止十五圓八十九錢▲四月止九十二錢▲五月止不明後場三月[illegible]

▲**仁川米豆取引** ●八日後場 三月寄り出來不申▲四月寄り八十八錢▲五月止十六圓五錢[illegible]十一圓六十錢▲最高低止無▲五月寄り十一圓八十七錢▲最高同上▲最低七十七錢▲止七十九錢

△秀島浩一氏(辯護士)釜山へ
△菅井菅兵衛氏(義州警察署長)九州旅館に
△諏訪菅太郎氏(大邱監獄典獄)三日月館に
△島山虎也太氏(釜山裁判所長)同上
△吉田雄六郎氏(同檢事正)同上
△柾木恕太郎氏(農商務技師)天眞樓に
△呉井初熊氏(獸醫學博士)同上
△正一 同上
△松下直英氏(同所長)同上
△黒川穣氏(大邱控訴院檢事)天眞樓に
△大井膚太郎氏(同所長)同上

四月止九十二錢▲五月止不明 寄り十五圓七十 ▲止八十六錢 六圓四十錢▲止六錢 ●九日前場 三月寄り十五圓八十四錢 十一圓八十四錢▲止同上 ●九日前場 三月出來不申▲四月寄り

警官の態度



抑も官吏の庶民に接するに當りては其威嚴を損せざる範圍に於て勉めて懇切ならざるべからざるは服務規律の定むるところなり殊に庶民保護の任務に當り常に親しく庶民に接觸せざるべからざる警官にありては其態度の益懇切ならざるべからざるは内地に在りては勿論朝鮮にありても屢々上級者若くは當該長官の訓示するところなり、而も現警務總長明石將軍は恩威並び行はるゝの君子人にして部下の統卒甚だ宜しきを得らるゝの聲高し、然るに往々にして當京城其他に事理を解せす虚飾を好むの少數警官あるが爲に朝鮮全部の警官の名を辱しむるに至る、今左に我目撃せる一例を示して其三省を促さんと欲す、請ふ我意のあるところを諒して以て其非を改むるに吝ならざれば至幸なり

鮮人、街の左側を通行

過日一夕本町通を散歩せし際我を距る四五尺前方に態度服装賤しからざる一鮮人せしに偶々一警官來りて怒聲鋭く直に「コラッ」の聲を以て叱咤し、更に曰く「貴様日本語は分るだらう往來は右側通行のことを知らんか」と鮮人腰を低くし答ふるに「イルボンマルモールムニダ」の語を以てせるに警官は「馬鹿っ行け〳〵」の語を以て歩を移せり、嗚呼何たる侮蔑ぞ、何たる傲慢ぞ、彼鮮人實に日本語を解せざりしならば幸なるも若し日本語を解すると答へば事面倒なりとて鮮語を以てしたるものならんには此警官の態度につき如何に不快の念を起さゞらんと欲するも得ざるべし、畏れ多くも

至尊は常に下民の愛憐に御軫念あらせられ日韓併合後は鮮民の愛撫至らさせられざるはなく、皆其至仁に感泣すと雖も苟も官憲にして如上無常識の措置あらんか些々たる小事より鮮人の感情を害し、延いて御仁徳を傷くることなしとせず上述の如き例は尚我之を見聞すること尠しとせず豈夫れ大に戒めずして可ならんや(ものじ投)

助産婦養成所基金募集

朝鮮人の慣習として臨產期に臨めば一家を密閉し家人と雖ども接觸するを許さずして自然的に分娩す故に一朝難產に罹れば母子供に貴重の生命を失ふ者枚擧するに遑あらず此の悲境に陷入る婦人を救濟する目的にて二三の看護婦醫師發起となり一昨年來中部校洞に助產婦養生所を創設し斯道の學科を教授すると同時に實地の方法を練習せしめ二十餘人而して慈善的に教授し來りたるが更に此事業を擴張せんと欲し諸般の準備なさん計畫中なるも維持費の困難を生じ組織事業も存亡の機迫りたるを以て江湖の紳士淑女の同情に訴へ助產婦養生所の維持費を得んが爲め慈善演藝會を來る十一十二の兩日午後五時より京城旭町歌舞伎座に於て開催すよし由なれば世の同情者は贊助せらる可し當夜の番組左の如し

▲琴尺八バイオリン合奏(中島樂祥氏)▲薩摩琵琶(若松)▲筑前琵琶(井上霞曉)▲博多二輪加(京城有志團体諸氏)▲西洋奇術(川口八十吉)▲劍舞(早川京城券番寄附)▲筑前琵琶(京城券番一九)▲手踊(鍋島樂豊子)▲御舞(京城券番小鶴、繁子)▲手踊(吉彌、雛子)▲文人手踊(幇間一福)▲三味線(文之助、はま)▲筑前琵琶(京城券番艶子)▲手踊(十郎、奴)▲落語(幇間一福)▲手踊(舞子一馬)▲三味線(京、つや、しづ)▲西洋人舞踏▲大切藝妓總出

●李完用伯利用さる

南部詩谷洞二十七統三戸崔永駒二男崔應模(十九)は若草町一丁目金貸業近藤勇太郎方に雇れ中朝鮮貴族李完用氏外三名の名を利用し近藤より金七百圓を騙取したることを發覺水門洞分署に檢擧され檢事局に送らる

東券藝妓の假裝行列

▽桃から生れた桃太郎 ▽陸軍紀念日を祝して

春色彌々清麗に四顧長閑なる今日龍山軍司令部にては大々的紀念祭擧行せられ尚京龍市民間にも種々餘興の催し等ある事は屢々紙上に詳報せし處なるが聞く處に依れば京城東券番にても此の戰勝紀念の一日を祝すべく同券番の老妓幼妓數十名總出にて十日午前十時より京城市中を練り歩く由なるが假裝は戰勝に因みある昔々の物語桃太郎の鬼退治陽りにて先づ清水席一馬指令官なる桃太郎に扮し五色の鬼の捕虜を引き立て三味や太鼓の鳴物に勇んで歸る凱旋軍士の扮裝は赤地筒袖の紋付にたつけ袴をはき込み、猿や雉子犬の假面を頭に頂きたる數十組分補の寶車に、山なす金銀財寶をエンヤラヤットの聲諸共に南大門まで繰り出し行く道々に妓君の凱旋踊り再び引き返して練り廻るとは定めし春の晴日和今日一日の華なるべし

●雇鮮人に注意せよ

南部美洞生れ金演慶(三〇)は昨年三月より京城和泉町金貸業大東三藏方へ雇れしが印章數十個を僞造し虛僞の借用證書を作成し大東より金九百四十餘圓を騙取し第二分隊に檢擧され檢事局に送らる

●仁川捕鼠買上 八日二百七十頭にして金八圓十錢なり

●仁川東部の檢梅

東部小料理店組合にては一昨八日仁川病院に於て六十三名に對する健康診斷を施せし部亭上田はつ、耶馬溪岡本さかゑ、花の井雛村とみ、同川村つい、同廻田とめ、同作本はな、同松本つね、都壽し長尾とよ、朝日亭大塲すがの、岡田村さむ、同米田うめ、和田亭小川さい、光月樓阿南てる、花月樓水谷ぎの、同水江ぎのの十五名は何れも異狀ありて松本病院へ通院治療を命ぜられたりと

京城より釜山へ

釜山にて 秀峯

日は旣に大田驛に着いた、四十左右の女、男の兒を抱いて予の横に乘つた、只二人急用を帶びて故に歸るのである、

停車場に着く毎に小供は南大門だ〳〵と呼ふ、面白い、此の兒は未だ日本を知らぬ

のであろ、車中は暖い、外套を脱して枕と爲し漸く一隅に横はつた、靜かに玻璃の窓を透して、遠く天際を見ろ、窓の中央に引いた一本の白線を中心として電線が平均になるかと思へは、下になりまた上になるを眺めて居ると、山の中腹か見ゆる、何にも見へぬ、と雲の大塊か見へる、巡査や憲兵や職人やの無趣味の顔を見廻はすより、遙かに詩的で面白い、人間も案外に詰らぬものである

靜かに品子の詩集を繙て朗吟する

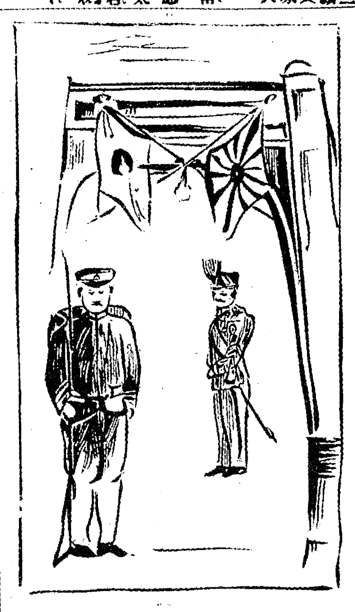
女性の胸より湧く血は、春の湖上に船を行るように、滑らかな中に言ひ知れぬ深い底かあると思つた、

秋風嶺、好い名だ、露に濡れて雁を聞きたい

輕く窓を開けると、麥は青く寸に延ひて、楊柳は綠色を含んで、暖かい春風は頰を撫でる、麥青き畑にたゝずむ少女等の語らうなかに流車過きて行く

詩集を胸にうと〳〵と夢路を辿る、三浪津の聲に夢は破れて眼を移せは、絕景々々、山あり水あり、細漣去來して白帆は隱見する、夕陽一抹の朱點を印して、野馬、靜かに眠るではないか、予は玆に始めて礑足の印象を止めた、碧瑠璃に水、翠や春の風

漸車は益々突進する、太陽は終に水平線下に沒した、乘客は立つて手物荷を纏める、女は懐中鏡に月並の化粧を試みる、子供は母の背に負はれた、而して定期に後るゝ數分、釜山驛に安着して、人は夫れ〳〵異なる方向に別れ去つて、予一人、暗黑の阪を上り、日本式の街の宵を味つた、海に輝く灯が奇麗だ



●一等主計撲らる

長崎縣人當時明治町二丁目八十三番戶居住東洋生命保險會社員諸熊恒治(三七)氏は元陸軍一等主計にして從六位勳五等の肩書ある人なるが八日午後九時頃長谷川町街路に於て東亞烟草會社職工朴永漢(二二)と何か言語の行違より毆打され所持の鞄及外套を奪ひ取られしが加害者は南部署倉野巡査部長に捕れ目下取調中

●大工の無錢飲食

神奈川縣人當時龍山本町三丁目大工職安齋半造(三五)は龍山元町一丁目人力車夫江良某と七日午後十時頃靑坡町日進樓に登樓遊興費二圓八十錢支拂へず西部署に突き出され檢事局に送らる

●盜難二件

龍山京町一の四十九番戶横田直右衛門は去る二月十七日午前十時頃セル合服外五點(價格廿七圓余)を尙漢江通り三丁目四十番戶山本なゑは本月七日午前十時頃銀側時計一個(價格十圓)を窃取されし旨龍山憲兵分隊へ屆出づ

四ツ手網

◎都々逸 柳十句 よし女

辻の柳に廓道問へば たよし〳〵と頭振る
出た出〳〵と日ふから行けば いやじや〳〵と振る柳
薄情〳〵と仰しやるけれど 振るもなびくも風次第
なびきさうでもなびかぬ柳 たてに振つたり横に振る
右になびけば左がうらむ 腹が立つなら風に訪へ
浮氣柳といはんすけれど 風に任かした体ゆゑ
水に映つた柳の枝が かし〳〵とかく姿
同じ振るにも振り樣がござる 主の爲ならたてに振る
胸の思ひを物知り顔に 門の柳が波をうつ
夜半の嵐もそよ吹く風も 相手きらはぬ糸柳

●演藝だより

●浪花館 八日より吉田春團一座の浪花節なり一座中の日本軒雲龍の演し物は銘々傳なるが節回し多く雲入をハッて居る樣なり座長春團のは彼の京山小圓の夫れの如く混成流なる詩吟、都々一、源氏節、長唄、淸元、一中節、ヤッチヨロマカセに潮呎節其を巧みに耳立たぬ如に唄る演物の因果の裁判は損なり木戸錢二十五錢

●壽座 十日の替狂言は御贔負のれ好みに依り更らに「潮」を上場すべしと

●京城座 大好評の兄弟義團は十日陸軍紀念祝意を表する爲め特に金鵄勳章を至七幕を演じ尙午前十時より俳優一同假裝行列を以て花々敷く龍山紀念祭式場に繰込む由にて配役は左の如し

父藤助(岩村)丁稚長松(花房)令嬢花子(堀江)坊主珍念(吉井)馬丁仙太(谷)半玉豆子(塚本)澁谷林平(松澤)岡崎署長(藤澤)木山曹長(小泉)藝妓小龍(東)藤岡少佐未亡人(江見)

●仁川歌舞伎座 片岡一座は昨晚の引續きの關口彌太郎を演ずと每晚〳〵大

今日の運勢

●三月十日 舊二月十日 四綠 巳卯 大安 たつ △一白 訴訟葛藤の因を釀し易し取引貸借賣買尤も注意すべし他の行事進んで吉△二黑 賣買取引見込違ひ多し業務上失体あるの日なり諸事手控への事殊に婚談共同組合の事に忌む△三碧 爭論不和衝突を戒しむ婚談開店、開業旅行轉宅進んで吉△四綠 起業開店婚談金談貸借相談商議效無し非理を要求若くは屈伏にあふ事あり△五黃 取引賣買尤も注意すべし近親の家庭上の事煩鎖あり新事婚談見合せの事△六白 衰運の日業務上十分の駈引用意を要す勸士建築に吉他行事見合はたるべし△七赤 不如意の日諸事手控への事殊に婚談共同組合團結の事に凶 酒色の破れを戒しむ△八白 新事婚談旅行見合せの事盜難遺失負傷衛生に注意すべし△九紫 靖事の日大抵吉改革整理訴訟願轉住轉業進んで吉

▲平調文壇▼

▲本町一丁目の篠崎商店は八日の朝七時半頃郵便配達をする人に呼び覺されて居た其の配達夫の容態と云ふものが見物であつた▲小包と見へて五斗俵程の嵩の袋を重そうに左の肩へ打ちかけて「シノサキさん郵便」「シノサキさん郵便」と叫んで居るのが何んのことはない樋と餓を忘れた大黒さん(通行人)▲南山町巴城館の列びに「東京新ばし女髮ゆひ しづ」と云ふ看板が出て居る所があるが東京新橋で髮ゆひをするのに京城へ看板を出しとくれしづさんとやらの心が知れませんね(どん子)▲同じ列ひの荒木理髮店の總督御用と云ふ金看板は恐しい樣な氣がする此調子で行けば今に紙屑屋の籠に總督御用の金看板が下る日が來だらうオー恐い(同)

西風景

入の好人氣を博し居れり

仁川商店めぐり

宮町 東屋小間物店

日本公園地下通り當地目抜の場所で屋根看板に商號は東屋商品は東京小間物東京香取屋履物抔とあるから主人公は無論東京の人ではないかと我點すル處なれど店主は永井房吉氏とて純粹の大坂商人なるが去る明治三十九年渡仁して斯業の大道商ひから今日の位置に成功した者で其の端緒は好い品を廉く賣事に努め元品仕入の撰擇に腐心した結果東京製の品でなければ信用を得る能はずと覺悟した東京製は少し高價なれど御客樣に買た後の心持がよう御座います裏物の如きは迚も大坂の品などは比較は出來ませんまして弊店は小賣專業でありますから結局好い品を扱ふのが最後の勝利と心得て居ります故御蔭で繁昌して居りますとは眞面目な話

第一回決算公告

自明治四十三年十月十八日
至明治四十四年一月卅一日

貸借對照表

資產之部

未拂込株金	二、二五〇、〇〇〇・〇〇〇
創立費	二〇、〇〇〇・〇〇〇
(釜山電燈會社權利及不動產)	一九五、三一二・八一九
建設費	一四、五八七・七六〇
不動產	一四、四〇一・二五〇
什器	一、二七四・二四五
貯藏物品	五、一七〇・〇〇九
銀行預金	四六四、三八八・一三〇
假拂金(釜山軌道株式會社買收内渡金外)	三八、七七二・六二〇
未收入金(銀行預金利息及電燈料未收入金)	九、六九四・八五〇
現金	九三、四九二
合計	三、〇一三、六九五・一八五

負債之部

株金	三、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
未拂金	一、八二五・六〇〇
假受金	一〇〇・〇〇〇
當期利益金	一一、七六九・五八五
合計	三、〇一三、六九五・一八五

損益計算書

收入之部

電燈收入	一四、六六八・三三〇
雜收入	八、〇三七・七八〇
合計	二二、七〇六・一一〇

支出之部

總係費	二、四四六・八〇五
電燈費	八、四八九・七二〇
合計	一〇、九三六・五二五
差引 當期利益金	一一、七六九・五八五

當期利益金ハ後期ヘ繰越
右之通候也
明治四十四年二月

韓國瓦斯電氣株式會社
取締役會長 牟田口元學
常務取締役 佐藤潤象
取締役理事 平山勝熊
取締役 井上敬次郎
同 迫間房太郎
同 大池忠助
同 吉本天祥
同 小泉策太郎
監査役 伊藤德三
同 可兒彌太郎
同 高島義恭
同 五島甚吉

右取締役ノ提出ニ係ル書類ヲ調査シ其適法正確ナルヲ認メ茲ニ報告候也

제646호 1911. 3. 10.